

中小製造業の経営革新とは

中小企業経営革新支援法で言うところの「経営革新」で製造業に関する部分は下記のように表現されています。

新商品の開発又は生産

商品の新たな生産又は販売の方式の導入

上記にてそのイメージは捉えていただけるかと思いますが、より具体的に整理されたものが発表されましたのでご紹介します。これは中小企業診断協会作成のマニュアル報告書にて発表されたものです。

本マニュアルでは、「経営革新」を下記のように分割し把握しています。厳密に分割できるものではありませんが、考え方の整理をする上では適切かと思えます。

穏やかな経営革新

基本的には従来製品の部分的改良、従来生産・販売方式の部分的な改善により比較的风险の小さい改善を主体とするものです。

リスクな経営革新

従来主力製品の行き詰まりが見えてきた場合には、やや大きいリスクを受入れ、新規な展開を図る必要が発生してきます。このような際に必要となる展開手段です。

製造業の経営革新ビジネスモデル（例示）

対象／手法	穏やかな経営革新ビジネスモデル	リスクな経営革新ビジネスモデル
製品	デザイン改良・改善 設計改善 品質・機能向上 新品質・機能付加 材料代替 コスト縮減 納期短縮 新用途開発	新製品開発 新分野展開 製品転換
生産方式	電子受注体制 工程改善、多能工育成 設備更新、冶工具改良 ボカ除けセンサー導入 アウトソーシング活用 メカトロ導入	自社専用新設備投資 生産拠点海外移転 生産システム転換 生産業態転換 生産連携
販売方式	新エリア進出 販売チャネル強化 新取引制度改善 物流システム改善	新販売チャネル開発 新販売業態導入 E-コマース 販売連携

中小製造業の経営革新支援マニュアル報告書より
(中小企業診断協会)